



# しおかぜ通信

八代市立郡築小学校  
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R8,2,2 No,34

## 「市長と児童のランチ会」が行われました

先日、本校で「市長と児童のランチ会」が行われました。

当日は、小野八代市長様、中教育長様、田中教育部長様をはじめ、教育政策課や秘書課、広報課の方々が来校され、3年生の子供たちと給食を食べられました。

会は、子供たちの歓迎の言葉で始まり、食育の一環でつくられた「パクパク係」の子供たちによる本日の給食に使われている食材の栄養素の説明やその食材に関するクイズの出題、栄養教諭による献立や調理法などの説明に続き、小野市長様から、地産地消の大切さや八代市は食に恵まれた環境にあることなどについてお話がありました。

食事中、子供たちは、市長様、教育長様に「好きな食べ物は何か」などと質問したり、牛乳パックのたたみ方を説明したりしながら、終始楽しそうにしていました。

この体験を通して、子供たちはまた一つ「食」の楽しさを感じたことと思います。ご来校いただいた方々に心より感謝申し上げます。

お帰りの際には、3年生や園芸クラブの子供たちが、学級園や学校園で栽培した野菜の詰め合わせ（お礼の手紙を添えて）をお持ちいただきました。



## 研究授業を行いました

先日、よりよい学習指導に向けた研究授業及び授業研究会を行いました。

本校では、よりよい授業づくりに向けて、「子供が、学びたい・知りたい・やりたいと感じる学習課題の工夫」、「子供が、友達の意見を聞きたい・みんなで練り上げたいと感じる協働活動の工夫」、「子供が次の学習に生かす・よりよい学習法を知るための振り返りの工夫」に取り組んでいます。（子供を主語にした授業改善）

また、そこに「生徒指導の4機能を生かした教師の積極的な働きかけ」を加えることで、自己指導能力を育て、主体性や共感性、協調性などを強化しています。

今回は、6年担任が国語科「海の命」の授業を公開しました。子供たちは、学習課題に対して、よく考えた意見をもって話し合い活動に臨み、その中で新たな発見をしたり、自分の意見を深めたりしていました。誰とでも積極的に話し合いをしている姿に心の豊かさを感じました。

授業研究会では、全教職員で、授業改善の3つの視点毎に、子供の活動を基に検証し、今後一層深化させたい点や改善したい点などを共有すると共に、各人が自分の授業ではどのように活かすかリフレクションし、教科や学年の垣根を越えた研究を行いました。

この授業は、子供たちが進学する第七中学校の先生方も小中一貫・連携教育の一環で参観されました。



## 第3回タイピング大会を行いました

先日、第3回タイピング大会を行いました。過去2回は、希望者が昼休み時間に音楽室に集まって大会に臨んでいましたが、今回は、3年生以上全員参加として、朝自習時間に各教室をオンラインでつないで一斉に行いました。

「はじめ」の合図と共に、子供たちは、真剣かつ黙々とキーボードのキーを打っていました。その音が響く教室の景色に新鮮さを感じました。

子供たちは、4月当初から、毎週1回朝自習時間にタイピング練習ソフトを使って楽しみながらスキルアップを図ってきました。最近では、休み時間に自主的に練習する子供もいるなど、その機運は高まっています。

全国学力・学習状況調査は、令和9年度から小・中学校の実施全学年で CBT（Computer Based Testing）方式（端末を用いたオンライン実施）へ移行されます。よって、タイピングスキルの向上は、子供たちがもっている能力を引き出す上で欠かせないものとなっています。



**本校のホームページもご覧ください。上記の QR コードから見られます**